

PAX レポート“Moving Away from Mass Destruction”（2023 年）

P. 126 仮訳

りそなグループは日本の金融サービス・グループで、1,600 万人以上の個人顧客と 50 万の法人顧客を有する。2022 年 3 月末現在、りそなは 78 兆 1,550 億円（6,029 億ユーロ）の総資産を保有している。

りそなは、「社会的責任投資・融資への取り組み」の中で、「核兵器、化学兵器、生物兵器などの大量破壊兵器や地雷やクラスター爆弾のような非人道的兵器の開発、製造、保有に関わる可能性のある顧客には融資をしない」としている。

この方針は、核兵器の実験、取引、備蓄に関わる企業にも適用される。

りそなは、核兵器のメンテナンスに携わる企業について、「原則として、プロジェクトは除外の対象となるが、核兵器の削減・廃絶に必要な最低限の維持管理に関しては、ケースバイケースで判断する」としている。

この方針は、りそなグループが提供する全てのコーポレート・クレジットおよびプロジェクト・ファイナンス、ならびにアクティブ運用ファンドに適用される。しかし、第三者のために行う投資、一任契約、パッシブ運用ファンド、および外部の資産運用会社が運用するアクティブ運用ファンドには適用されない。

りそなグループは除外リストを利用していない。

りそなグループは、核兵器産業に投資している。

私たちは、りそなグループが核兵器に関する公開されたポリシーを採用していることを称賛する。

りそなグループが、第三者のために行う投資や一任運用、パッシブ運用のファンドを含む、すべての金融商品にこの方針を適用するよう推奨する。

さらに、りそなグループに対し、核兵器産業に関連するすべての完全な投資撤収を推奨する。

私たちは、りそなグループと関わり合い、りそなが強力で包括的なポリシーを採用し、本報告書の将来の更新で「栄誉の殿堂入り」することを期待している。